

特集

もり

「花粉」の少ない森林づくり

4



森林の 心地よい未来



戦後造成したスギ等の人工林は、国土保全機能などの多面的機能を高め、我が国の安定的な発展に大きな役割を果たしてきた一方、予期されていなかった花粉症という社会問題が生じました。利用期に入ったこれらの森林は、花粉発生源対策を進めながら伐採・植替えを行う新たな森林づくりのタイミングに入ったと言えます。



多様で健全な 森林の姿へ



森林の多面的機能を発揮させていくため、
森林の自然条件等を踏まえながら、多様な森林づくりを進めていく必要があります。
伐採・植替えを通じて花粉発生源対策を進めていくことは、多様な森林づくりにもつながります。

森林の適切な整備・保全

天然林

必要に応じて病虫害対策など保
全を図り維持していきます。

人工林

林業に適さない森林は、針広混交林化や広葉樹化を
図るとともに、林業に適した森林は、適切に伐採・
植替えを進め、引き続き人工林として利用します。



森林の

理想的なサイクル

良好な状態の森林は、洪水の緩和、水質の浄化、木材の産出などの働きをします。
この状態を維持するためには、森林の成長、利用のサイクルをうまく作ることが大切です。
特に、林業に適した人工林では、再び花粉発生源となることがないように、
花粉の少ない苗木等に植替えていく必要があります。

森林資源の循環利用



木材のある日常

公共建築物



住宅・一般建築物



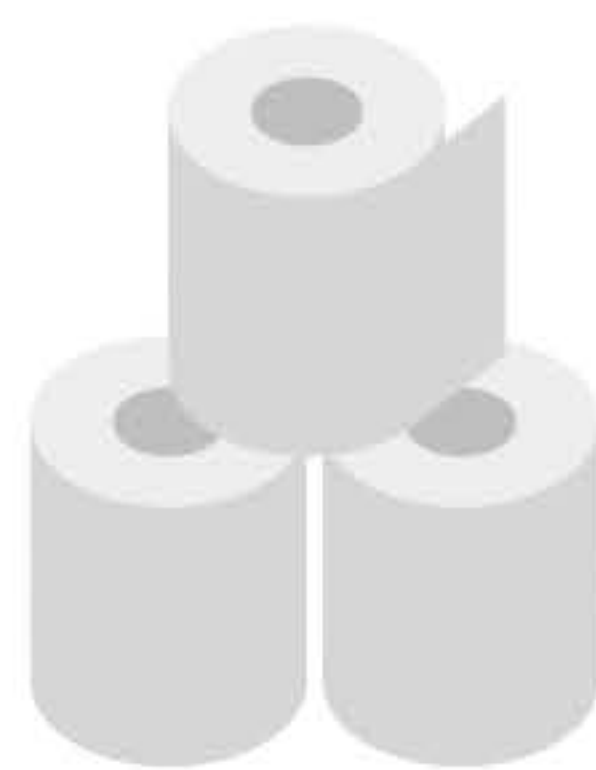
建築土木資材



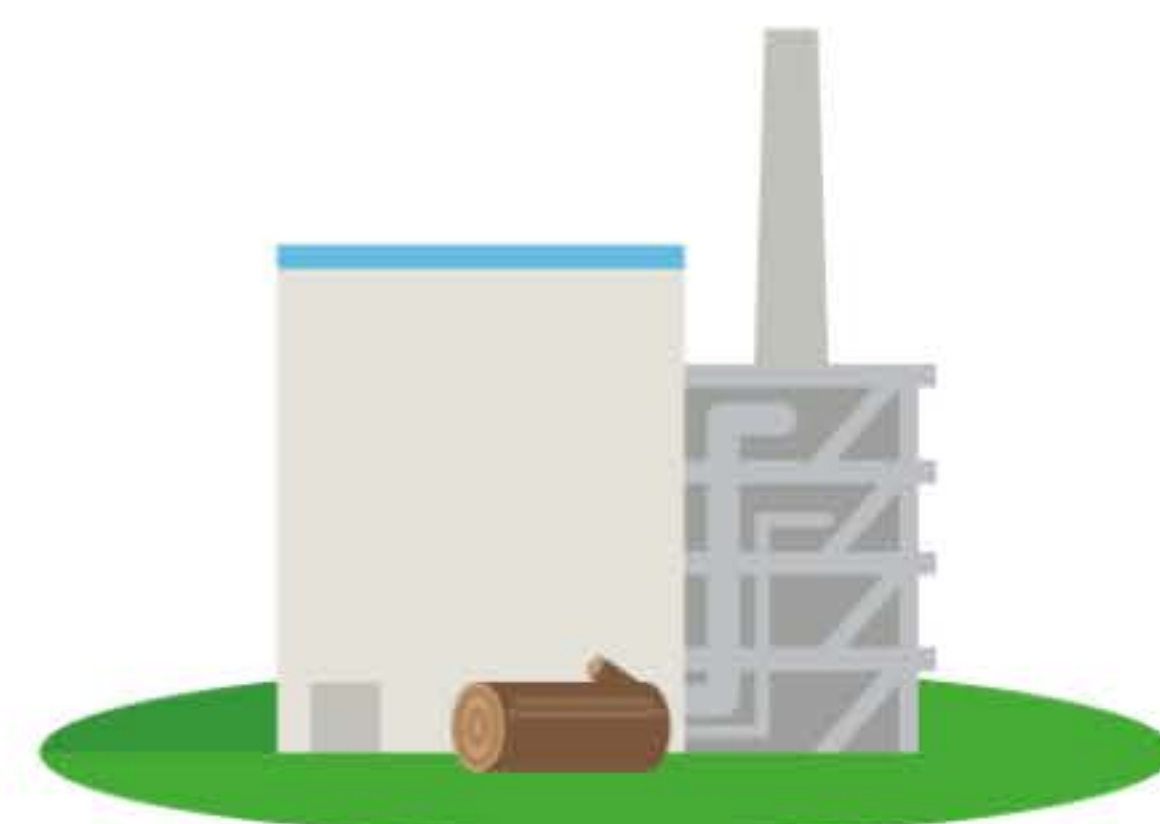
木製品



間伐材を使った
紙製品



木質バイオマス



このように、花粉発生源対策を進めるためには息の長い取組が必要となります。
この取組を進めるためには、国民が森林や林業、木材利用に親しみを持って積極的に関わり、
森林からより多くの恩恵を受けられる社会につなげていくことが重要です。
最後に、森林や木材利用の重要性を伝える取組を紹介します。

未来に向けた、木育イベント

子どもたちに木材に触れ合う機会を増やすことは、木材を使用する価値を理解することや、
人と木や森との関わりを主体的に考えられる豊かな心を育むことにつながります。



森のとびら

国産木材を使用した家づくりを行う広島県の（株）坂田工務店が
かんなくすのプールを用意し、子ども達が木に触れ、匂いを感じ
る体験を楽しみました。かんなくすのほうきづくりも好評でし
た。

WOOD CHANGE

楽天グループ（株）が、小学生を対象に2日間の木育プログラムを実
施。宮崎県産のスギ材を使用した建築家の隈研吾デザインの
「TSUMIKI」で遊ぶ時間では、子どもたちが、夢中になって作品を
作り上げました。



ジャパンウッドラベル・ ウッドカーボンラベルの表示について

Japan Wood Labelおよび Wood Carbon Labelとは？

木材、特に国産材の利用拡大に向けた取り組みとして運用が開始され、木材を利用したオフィスや商業施設、公共施設などの建築物や内装、木材を使った家具や小物などの製品に、そのことを示す専用のラベルを表示することができます。上は国産材の使用、下は木を使うことでどのくらいの炭素を貯めているかを示すラベルです。このラベルを付帯することで、木材、国産材の使用を、利用者や利用団体に広く知らせることができます。

Japan Wood Label



Wood Carbon Label



社会や環境への貢献の “事業価値化”



事業者は、利用者に対して社会や環境への貢献を示すことで事業の価値を高められます。

消費者の サステナビリティ購買を支援



消費者は購買時に、その製品が社会や環境に配慮したものであると判別することができます。

ラベル使用には申請が必要です

▶申請はこちら



今週のまとめ

望ましい森林の姿を実現するためには長期的な視野が必要です。

子どもたちとともに理解を深めることで、

より一層、心地よい未来へと近づいていきます。



aff 3月号
特集一覧は
こちら>>



Follow Me !

Instagramも更新中！